



平成二六年度

秋田県消防協会評議員会開催される

新しい役員を選出



公益財団法人秋田県消防協会の平成二六年度評議員会が五月二〇日(火)、秋田市の「イヤタカ」で開催されました。

評議員会には、秋田県副知事堀井啓一様、秋田県消防学校長中村基様が来賓として出席されたほか、評議員一八名、理事・監事一六名が出席しました。

最初に殉職された消防職員・団員の御霊に黙祷を献げ、引き続き中田会長があいさつ、堀井副知事から祝辞をいただきました。

議事に入り、平成二五年度会計決算や役員等の選任などが審議されました。また、その後開催した臨時理事会において、任期満了に伴う正副会長の選任について協議し、会長に中田潤氏、副会長に草薨忠誠氏、成田十喜男氏、海野達雄氏がそれぞれ再任されました。

題字 初代会長 松野盛吉
定価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人 〒010-0951 秋田市山王四丁目1番2号 秋田地方総合庁舎内 秋田県消防協会 会長 中田潤
電話 018-867-7320 FAX 018-863-5910
http://www.shoubou-akita.or.jp E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印刷 〒010-0951 秋田市山王7丁目5-29 株式会社 松原印刷社 電話 018-862-8760 http://www.matsubarainsatsu.co.jp

平成二十六年全国統一防火標語
もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

会長あいさつ



秋田県消防協会会長
中田潤

ご来賓並びに評議員の皆様には、当協会の運営に対し、それぞれの地域において、格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年度の事業につきまして、三点述べさせていただきます。

まず、一月二五日東京ドームで開催されました記念大会であります。本県から四五〇名参加しました。各消防団の結束力が一層強まった良い機会であったと思えます。二点目は、「まとい」の受章であります。大仙市消防団はもとより、我々消防関係者にとりまして、この上ない喜びと感動でありました。三点目は、一月に新しい法律が制定されことあります。これは、我々消防団にとりまして、画期的な出来事でありました。

今後とも、より公共性の高い協会を目指して参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

来賓祝辞



秋田県副知事
堀井啓一

平成二六年度評議員会の開催をお祝い申し上げます。また、皆様には日ごろから安全・安心な地域を守るため、献身的なご努力を頂戴しておりますことに心から感謝いたします。

昨年は、日本海中部地震から数えて三〇年という心を新たにすする節目の年でありました。東日本大震災とともに、県においても甚大な被害を受ける地震災害があったことに改めて思いをいたし、そしてまた、地域の防災体制の見直しに臨んだ一年でもありました。

八月のこれまで経験したことのない豪雨災害、一月由利本荘市での土砂崩れなど消防の皆様には救出活動などに本当にご尽力頂きました。今年に入り、火災では死者数が一八名と危機的な状況であります。火災予防に対する皆様の更なるご努力を心からお願ひ申し上げます。

■承認された議案

- ①平成二五年度事業の概要報告
- ②平成二五年度会計決算
- ③監査報告

■役員等の選任

*新たに選任された理事

- 黒澤文男 鹿角市消防団長
- 成田十喜男 大館市消防団長
- 中田潤 能代市消防団長
- 齊藤和雄 藤和雄 八郎潟町消防団長
- 海野達雄 秋田市消防団長
- 周防彦宗 由利本荘市消防団長
- 草薨忠誠 大仙市消防団長
- 稲盛盛榮 横手市大森消防団長
- 近野宗一 湯沢市消防団長
- 渡辺雅人 秋田県総合防災課長
- 小林博美 秋田県消防長会会長
- 三浦肇 秋田県消防長会副会長
- 泉篤 秋田県消防長会副会長

高橋尚文

秋田県消防協会事務局長

(任期は、平成二八年度定時評議員会の終結の時まで)

*新たに選任された評議員

佐藤久仁

大館市消防本部消防長

高橋進

北秋田市消防本部消防長

伊藤豊

五城目町消防本部次長

横田定和

秋田市消防団副団長

佐々木助行

由利本荘市消防本部消防長

佐々木久悦

仙北市消防団長

高橋禎悦

湯沢雄勝広域消防本部次長

(任期は、平成二八年度定時評議員会の終結の時まで)

■報告事項等

- ①平成二六年度事業計画及び収支予算
- ②平成二七年度消防大会の開催支部
- ※第六八回大会は、大館北秋田支部で開催します。
- ③第五一回秋田県消防操法大会出場順

見舞金等の基準

①罹災見舞金

損害程度	損害額	見舞金
住家の全焼又は全壊		10万円
住家の半焼又は半壊	200万円	6万円
	100~200万円	4万円
	20~100万円未満	2万円
非住家の焼失又は損壊 家財の焼失又は損壊	200万円	3万円
	100~200万円	2万円
	20~100万円未満	1万円

②弔慰・傷痍見舞金

区分	死亡及び傷痍の区分	見舞金
会員	職務のため死亡	2万円
	傷痍を受けて重度障害	2万円
	傷痍を受けて1ヶ月以上休養	1万円
	在職中死亡	1万円
会員以外	災害防止のため死亡	2万円
	災害防止のため傷痍を受けて重度障害	2万円
	災害防止のため傷痍を受けて医療長期にわたった	1万円

③結婚祝い金

結婚祝い金	1万円
-------	-----

*見舞金等は特別の事情がない限り、支払い事由が発生してから1年間交付申請がないものは、その効力を喪失します。支払い事由が発生したら早めに申請して下さい。

第51回秋田県消防操法大会出場順

支部名	種目等	小型ポンプ操法の部	ポンプ車操法の部
鹿角	角	3	2
大館北秋田		7	4
能代市山本郡		6	3
男鹿潟上南秋		1	5
秋田市		4	1
由利本荘にかほ		9	7
大仙仙北美郷		2	
横手市		8	6
湯沢市雄勝郡		5	

※ 9月4日(木) 秋田県消防学校で実施

秋田県消防互助会事業

Ⅱ(公財)秋田県消防協会Ⅱ

会員相互の共存共栄と、親睦融和、消防の士気の高揚を図るための事業です。

■掛金 一人年額三〇〇円

■事業の種類

- ①罹災見舞金 会員が火災、地震等の災害により被害を受けたときに贈呈
- ②弔慰・傷痍見舞金 会員等が死亡したとき又は職務のため傷痍を受けたとき贈呈
- ③結婚祝い金 会員が結婚したとき贈呈

公益財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員 (平成26年5月20日現在)

〔理事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
会 長	中 田 潤	能代市消防団 団長
副 会 長	草 彌 忠 誠	大仙市消防団 団長
"	成 田 十喜男	大館市消防団 団長
"	海 野 達 雄	秋田市消防団 団長
理 事	渡 辺 雅 人	秋田県総務部総合防災課 課長
"	黒 澤 文 男	鹿角市消防団 団長
"	稲 葉 盛 榮	横手市大森消防団 団長
"	近 野 宗 一	湯沢市消防団 団長
"	周 防 彦 宗	由利本荘市消防団 団長
"	齊 藤 和 雄	八郎潟町消防団 団長
"	小 林 博 美	秋田市消防本部 消防長
"	三 浦 肇	大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 消防長
"	泉 篤	能代山本広域市町村圏組合 消防本部 消防長
業務執行理事	高 橋 尚 文	秋田県消防協会 事務局長

〔評議員〕

役 職	氏 名	関係する消防機関等
評議員長	佐 藤 金 一	羽後町消防団
評 議 員	割 石 博 之	鹿角市消防団
"	澤 口 紀 夫	小坂町消防団
"	米 田 均	鹿角広域行政組合消防本部
"	金 田 咲 美	北秋田市消防団
"	北 林 義 高	上小阿仁村消防団
"	佐 藤 久 仁	大館市消防本部
"	高 橋 進	北秋田市消防本部
"	金 子 忠 夫	三種町消防団
"	本 多 健	八峰町消防団
"	一 関 鏡 一	五城目町消防団
"	池 田 彰	大湯村消防団
"	天 野 正 廣	男鹿地区消防一部事務組合消防本部
"	伊 藤 繁	湖東地区行政一部事務組合消防本部
"	伊 藤 豊	五城目町消防本部
"	備 後 孫 忠	秋田市消防団
"	横 田 定 和	秋田市消防団
"	石 綿 喜代隆	由利本荘市消防団
"	佐々木 護	にかほ市消防団
"	佐々木 助 行	由利本荘市消防本部
"	伊 東 善 輝	にかほ市消防本部
"	佐々木 久 悦	仙北市消防団
"	高 橋 正 尚	美郷町消防団
"	泉 信 一	横手市横手消防団
"	佐々木 一 義	横手市大雄消防団
"	伊 藤 弘 明	横手市消防本部
"	佐々木 謙 吉	東成瀬村消防団
"	高 橋 禎 悦	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

〔監 事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
監 事	成 田 俊 昭	小坂町消防団 団長
"	鈴 木 清	男鹿市消防団 団長
"	高 階 健太郎	横手市山内消防団 団長

平成25年度決算〔正味財産増減計算書内訳表〕

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

科 目	公益事業	共益事業	管理事業	内部取引	合 計
経常収益計	15,202,970	13,758,982	2,890,623		31,852,575
主な内訳					
基本財産受取益	750	0	0		750
受取会費(掛金)	0	5,683,800	0		5,683,800
事業収益	346,500	0	0		346,500
受取補助金等	7,605,980	5,506,184	584,000		13,696,164
受取負担金	2,841,000	1,374,000	892,523		5,107,523
受取寄付金(会費)	3,279,000	1,174,000	1,403,000		5,856,000
その他経常収益	1,129,740	20,998	11,100		1,161,838
経常費用計	20,111,222	7,078,746	4,494,530		31,684,498
主な内訳					
給与等	6,344,045	2,265,288	2,690,397		11,299,730
旅費交通費	3,845,655	388,867	198,280		4,432,802
備品消耗品費	1,291,486	2,197,593	192,354		3,681,433
印刷製本費	1,851,108	328,051	0		2,179,159
支払助成金	1,849,680	0	0		1,849,680
委託費	1,701,233	0	0		1,701,233
見舞金支出	0	1,580,000	0		1,580,000
その他経常費用	3,228,015	318,947	1,413,499		4,960,461
当期経常増減額	△ 4,908,252	6,680,236	△ 1,603,907		168,077
【他会計振替額】	2,689,970	△ 2,689,970	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,218,282	3,990,266	△ 1,603,907		168,077
一般正味財産期首残高	9,121,837	101,378,117	2,431,813		112,931,767
一般正味財産期末残高	6,903,555	105,368,383	827,906		113,099,844
主な内訳					
基本財産	3,000,000	0	0		3,000,000

第六八期初任教育 一ヶ月を振り返って

秋田県消防学校

第六八期初任教育の入校生が、四月一日に入校してからももう二ヶ月が過ぎました。

入校当初、全く未知の分野である消防の教育訓練への不安、寮での共同生活への戸惑いなどが感じられたが、今ではみんなが協力して日々の学校生活を送っています。

教育訓練も五月に入ると、体力錬成、礼式訓練から消防基礎技術の習得へと移行し、現在では、空気呼吸機器取扱訓練、身体結索訓練などの実技訓練が本格化してきています。

こうした中、消防学校から「一ヶ月を振り返って」と題した作文が寄せられましたので紹介します。



齊藤 和
(秋田市消防本部)

消防学校に入学して早くも一ヶ月が経とうとしている。授業では、頭で思い描いていたイメージと、実際の技術が伴わず、何度も注意され、時には心が折れそうになる。たとえどんなに辛くとも自分の中には、消防士になれた幸せや喜び、そして誇りというものがある。大学時代、友人が遊んでいる時、その誘惑に脇目もふらず消防士になるという一心で予備校に通い詰めた。そうしてようやくつかんだ夢である。今この気持は絶対消えることはないし、これからの大きなモチベーションにもなる。授業はこれからの仕事に欠かすことのできないものばかりで、とても貴重である。また、訓練中に教官の方が、「そんなので、人の命を助けられるのか。自分の命を守るのか。」という言葉に、消防という責務の大きさが理解できる。

私たちは消防職員であり、規律正しい生活をする必要がある。生活の中での一つ一つの見落としに關しても、そのミスが現場に繋がるものだと思います。寮での生活から気を引き締めたい。これから消防生活二ヶ月目が始まる、より自分に厳しく毎日を実践させたい。



千葉 優
(大館市消防本部)

今月は消防学校で過ごす初めての月で、全てのことに関心した。初めに行ったのは整容指導でした。前の人指摘されている箇所を直したつもりでしたが、自分の番になると同じ事を指摘された。入校式の訓練では、手の振り、足の上げ方などを指導され、改めて学校の厳しさを思い知った。次の週には、初の授業と日直がありました。授業だけで精一杯なのに、日直の通常業務があり、忙しい一日となった。体力測定もありません。今の自分の体力が分かったとともに、日々の訓練や体力錬成を頑張り次回の体力測定では、今回の結果を上回るようにしたい。座学では、消防法、機械の名称など初めて聞くことだらけだったので、毎日が抜けなかつた。消防法、消防制度、危険物、消防機械ポンプの授業は、現場に戻ってから先輩方と同じように働けるようになるため日々集中し、全て吸収するという気持ちで頑張った。効果測定では、あまり良い結果ではなかつたので、空いている時間を有効に利用し、十位以内に入れるように頑張りたい。来月は、四月の反省を活かし、良かった点が増えるよう努力していきたい。



浅野 喜孝
(北秋田市消防本部)

一ヶ月を振り返って、不安があったり、生活に慣れなかつたりと、訓練があまり身に入らなかつた。それに加えて覚えることばかりなので、最初の一、二週間はとても苦労した。訓練礼式は、入校前から署でやってきていたが、人数も少なく基本中の基本の動きしか訓練できていなかった。次の動きも全然頭に入っていない。だから部屋で練習して、みんなに遅れを取らないように必死でやった。指揮も今までやったことはないが、いつでも出来るようにしておきたいと思う。

署ではあまりできなかった小型ポンプ操作や三連梯子などもこの一ヶ月でやった。経験者の操作は、動きの機敏さや一つ一つの動きがすごくて圧倒された。私も早く周りに教えてあげられる位まで操作を覚えたい。また、その訓練の時だけしつかりやるだけでなく、分らなかつたら聞いたり調べたりと空いている時間、自習時間を有効に使っていききたいと思う。

五月は、いろいろな行事がある、だらけることなく、しつかりとした生活を送りたい。



菅原 裕
(にかほ市消防本部)

四月に入って学校に入学してから一ヶ月が経ったが、寮の生活と同期の人とも慣れてきて、楽しくやれるようになった。授業のノートのとおり方等が分かってきた。訓練等の外の授業では、分かりやすく操法を教えるのは難しいが、自分も薄々としか覚えていないところがあつたりするので、復習のためにもしっかりと配られたプリント等を見て、もう一度一から勉強していきたい。

初めての効果測定で、あまり良い点数を取れていなかったたので、次のテストでは気合いを入れてやりたい。寮で初めて同じ部屋の人と顔を合わせたときは、すごくこちなかつたのが、一週間同じ部屋で寝ただけなのに、今では連絡先まであるので、休日中連絡し合っている。

今月から教官の方達も本腰を入れてやると言っていたので、月を重ねるごとに、どんどんスキルアップしてたくさん力をつけていきたいと思う。四月はみんなも何かなんだか分からない状態だったと思うので、今月は先月より内容の濃い訓練と授業をやっていききたい。



小松 真文
(由利本荘市消防本部)

入校前、訓練や勉強、寮生活等に對して期待と不安があつた。四月八日、消防学校へ向かう車中で、同期の仲間と会話を交わす中で、「これから頑張ろう。」と話したことを覚えていいる。これからの消防人生の基礎になる消防学校生活を有意義にストイックに過ごしていこうという気持ちだつた。

最初の連休を終え、本格的に授業が始まった。座学も訓練も礼式も、やはり思っていたよりも身体的、精神的に疲れるものだつた。座学では、消防関係の専門用語ばかりで、最初は、中々頭に入つてこず、大変だつたため授業で教官が言うこと、書くことを、一つも見落とすことなく、授業を受けることにしようと思つた。

訓練では人数が多いため、見学する時間が多くなつていいる。他の学生が訓練している時や教官が手本を示しているときに、技を盗めるようにしていこうと思つた。訓練の中で、最も印象に残っていることは結索である。毎日部屋の仲間、所属の仲間と共に練習して忘れないようにしていた。もやい結びや巻き結び等、基本的なものをしっかり出来るようにしたい。



赤川 弘晃
(横手市消防本部)

入校してから約一ヶ月が経過した。今までの学校生活とは違い、全く知識の無いことだらけで、今はついて行くのがやっとだつた。これからは、ついていくだけではやっていけないと思う。実技にしても、しっかりと予習してきている人は、全体の流れをつかんでいた。予習をしてきていない人は、何も分からずに勝手に動いて、注意をされていた。消防士が現場で勝手に動くと自分の命も危ないし、仲間の命も危ないので、勝手には行動はできない。また、同じ事を何回も注意されていると前には進むことができない。今後はミスしても一回だけで、その後はミスをしないような努力をしていきたい。

四月の主な外での授業は、小型ポンプ操法だつた。なんと一ヶ月が経ち、見栄えも良くなつてきた。小型ポンプ操法は、ポンプ操法などにも活かすことができるので、しっかりと覚え、他の隊員もできるように部屋で教え合つて、部屋全体でレベルアップして質の高いものにしていきたい。

一ヶ月が経過し、私は消防学校に何をしに来ているのかを今一度考え、今後有意義に過ごしたい。



近藤 哲矢
(五城目町消防本部)

消防学校に入校して一ヶ月が経ち、感じたことは第一に、あつという間だつたことだ。入校してからは、毎日が慌ただしく過ぎていったが、自分自身が成長した点を聞かれたら、胸を張つて応えられる部分はまだない。このまま半年間が過ぎていって、消防人としての成長はできないし、今までの自分を超えることもできない。これからどうしていくべきかが大変だ。

座学時、武藤教官の「自分の殻を破れ。」という言葉が今後の自分のテーマにしていきたい。自分で限界を作っていた今までの自分を破りたいと感じた。

私は、今まで柔道が続けており、柔道をしているときは、自信を持って頑張ってきたが、それ以外は疎かにしてきた。消防士になつた以上、そんな生き方では通用しないと思うので、当たり前のことを当たり前にして卒業したい。

五月に入り、様々な操法の訓練が始まり、覚えることが増えてきたが、いつまでも新入生のような気持ちでいるのではなく、人の命を救う者としての自覚を持つていきたい。



小館 拓
(鹿角広域行政組合
消防本部)

消防学校に入校して一ヶ月が経ったが、他の人達は段々慣れてきたようだが、自分はまだまだ不安がある。それは、本当に自分が一人前の消防士として成長できているのかということだ。

座学では、集中して取り組んでいるつもりだが、難しく、覚えることも多くて大変だ。実技の訓練でも、動きを覚えるのに苦労して同じ間違いをしてしまうこともある。また、入校当初「弱い気持ちを直す」という目標を立てたが、今の自分はまだまだ強い気持ちでポジティブに何に関しても取り組めていないと思う。このままでは、武藤教官がおっしゃっていたように、同期の人達との差が広がってしまうので、今の状況を打破するため今後は、再度自分の目標を明確にし、自分がどうしたら、ポジティブに強い気持ちで取り組めるかを考えて頑張っていきたい。

一ヶ月間、様々な訓練をしてきたが、まだまだ消防士という自覚と責任が備わっていない。五月からは徐々に、焦らず自分に自信を持てるよう頑張っていきたい。



鈴木 裕也
(能代山本広域市町
村園組合消防本部)

消防学校へ入校して最初の一ヶ月はあつという間だった。学校で指導されていることは、全て今後の消防人生に必要なことなので、半年間を通してしっかりと、定着させたいと思う。

また、本格的に訓練や講義も始まってきて、小型ポンプ操法の訓練では、一つ一つの動作に節度をつけること、大きな声を出すことを意識して取り組んでいる。苦手な番員もあるが、何度も訓練して自信を持てるレベルまで達したい。座学では、先日消防法の効果測定があった。講義に真剣に取り組み、復習にも力を入れたこともあり、自分なりに満足のいく成績を残すことができた。しかし、満点ではなかったので、間違った部分をしっかりと復習して、知識向上に努めたい。他の教科についても同様に効果測定はあるが、効果測定のためだけでなく、今後の業務に活かすことを強く意識して講義に臨んでいきたい。

一ヶ月が過ぎ、学校生活の流れを掴むことができたので、ここからが本番だと思う。「同じ失敗を繰り返さないように。」頑張っていきたい。



鈴木 吏
(湖東地区行政一部
事務組合消防本部)

消防学校に入校して一ヶ月が経とうとしている。最初は友人もほとんどいなく、半年間やっていけるかという不安でいっぱいだったが、自分でも不思議なくらい、今では楽しみながら頑張れている。毎日ただ過ごすだけでなく、一日の目標を持って過ごすことで、有意義な一ヶ月にできていると思う。私は以前から食事にとっても時間が掛かっていたが、消防学校では皆食べるのが早く、合わせているうちに自然と食事時間に掛かる時間が短くなってきた。また、最初は六時半に起床するのが苦痛だったのだが、少しずつ慣れてきて今では六時二〇分頃に自然と目が覚めるようになった。生活のリズムが身につけてきたと実感している。

私は体力には自信があったのだが、筋力には不安を感じていたので体力測定は、現在の自分の実力と課題を知る良い機会になったと思う。今月は競歩大会がある。部屋の間と更に一致団結できる良い機会なのでとても楽しみにしている。

今月の目標は「隙間時間を有意義に使うこと。」なので、忙しい朝など効率的に動いて、時間をうまく使えるようにしたいと思う。



藤井 陽介
(大曲仙北広域市町
村園組合消防本部)

消防学校に四月九日入校してから約一ヶ月が経った。入校したての頃は授業の内容がわかるかどうか、訓練はついていけるか、寮の生活には慣れることができるのかなどとても不安だった。一ヶ月が経過して、少しずつではあるが、授業内容も分かるようになってきた。訓練にもまだまだではあるが、理解できるようになり、ついていけるようになった。寮での生活も、他の本部の人達と段々打ち解けられるようになってきたと思う。そういった反面で、多くの課題と反省点があった。日々の授業では、しっかりと話を聞き、ノートを取っているつもりでも、いざ効果測定などの復習の勉強をしてみると、よく理解していなかったり、ポイント部分があやふやで忘れてしまったり、自分の復習不足を痛感した一ヶ月だった。

今後は、日々の自習の時間や空いている時間などに、一日の復習をしっかり行い、どのような勉強法が適しているのかなどをしっかりと決めることが大事だと思った。一日一日を大切に、立派な消防士となれるように、日々精進していきたいと思う。



矢野 優斗
(湯沢雄勝広域市町
村圏組合消防本部)

一ヶ月が過ぎ生活のリズムも合い、以前よりも有意義な生活を送れていると思う。入校当時は環境に慣れずにはいましたが、他の学生とも仲良くなり良好な関係を築くことができています。

勉学では多くの教科があり、正直大変だと感じている。これまで聞いたことのない用語、法律など一度学んだだけでは理解できないこともあったので、しっかりと復習していきたい。実技では訓練礼式が多かった。一年間勤務してきたのですが、あまりやったことがなく、一からのスタートだった。後半になってくると訓練礼式をやる時間が少なくなってくると思うので、他の学生達と自主的に訓練していきたい。また他にも様々な訓練が始まり、中でも小型ポンプ操法やロープ結索では昨年先輩から指導してもらっていたので、他の人に教えたりする立場になった。しかし、質問されて答えられないこともあり、そこで教官に聞く機会が生まれたおかげで自分でも勉強になった。

これからは、本格的に訓練や指導が始まっていくので、気を引き締め過ぎていきたいと思います。

東北水防技術競技大会が 開催される

大仙市消防団が
出場

第八回東北水防技術競技大会が、五月二五日(日)宮城県名取市(太白大橋上流 名取川河川敷)で行われ、本県代表として大仙市消防団チームが出場しました。

大会は、東北六県の代表が「月の輪工」と「シート張り工」の二種目で、各制限時間一五分内で手順の正確さや出来映え、チームワーク、所要時間などで競われました。

大仙市消防団では、大曲支団から二〇名を選抜し、四月中旬より仕事が終わった夕方から、一〇回以上の練習を積み大会に挑みました。



「月の輪工」では、練習の成果を十分に発揮し、きびきびとした動きと正確な土のう積みで二位のタイムで完成することができました。

「シート張り工」は、序盤若干のトラブルがあったものの、焦らず無事工法を終了することができました。

成績は奨励賞でしたが、審査員からは完成した「月の輪工」「シート張り工」ともしっかりと作られており、出来映えや技術の正確さは優勝、準優勝チームと遜色ない出来だったと評価いただきました。

なお、六月一日(日)に開催された大仙市水防講習会では、大会に出場した選手が講師として、広く水防技術の普及に貢献しました。

〔情報提供〕大仙市総合防災課



地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

支部情報アラカルト

中学生の職場体験
学習が行われました

〓 由利本荘市消防本部 〓

五月一三日から一五日の三日間、由利本荘市立本荘東中学校の二年生六名が本荘消防署において、職場体験学習を行いました。

消防業務の説明を受けた後、消防機材に触れ、消防服、空気呼吸器を装着し、放水も体験しました。緊迫した雰囲気の中、消防士の仕事に真剣に取り組みました。

また、二日目には普通救命講習を受講し、AEDの使用方法や心肺蘇生法を学習しました。

最終日には、救助体験学習が行わ



れ、熱画像直視装置を使用した熱源探知やはしご登坂訓練、地上約五メートルに張られたロープ渡過体験をしました。

今回の職場体験を通し、近い将来消防職員、消防団員として地域住民の安心・安全を守る生徒が出てくることを予感させられる職場体験学習となりました。

〔情報提供〓由利本荘にかほ支部〕



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成26年		平成25年			同期比較	
	5月	累計	5月	累計	年計	5月	累計
建 物	15	104	20	101	204	- 5	3
林 野	5	34	16	24	34	-11	10
車 輛	1	14	4	18	39	- 3	- 4
その他	7	37	10	29	72	- 3	8
合 計	28	189	50	172	349	-22	17
死者数	3	20	2	15	22	1	5
負傷者数	1	37	5	30	66	- 4	7

第67回秋田県消防大会
大仙仙北美郷支部開催のお知らせ

NHK解説主幹 山崎登氏の講演、マーチングバンド、創作和太鼓のアトラクションもあります。地域の方々も是非お出掛け下さい。

開催月日 平成26年6月28日(土)

午後1時から

開催場所 大仙市大曲日の出町
「大仙市大曲市民会館」

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp